

令和4年3月14日（月曜日）

予算決算委員会厚生分科会

議会会議室

出席議員

白井義一、谷川真由美、木村達夫、駒田かすみ、
石見和之、竹中隆一、杉本博昭、江口千洋

【厚生委員会（市民局）の審査】

開会 11時25分

市民局 11時25分

送付議案説明

- ・議案第1号 令和4年度姫路市一般会計予算
- ・議案第4号 令和4年度姫路市国民健康保険事業特別会計予算
- ・議案第6号 令和4年度姫路市後期高齢者医療事業特別会計予算
- ・議案第13号 令和3年度姫路市一般会計予算補正予算（第12回）
- ・議案第15号 令和3年度姫路市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2回）

質疑 11時34分

（質問）

新規事業の場外車券発売施設周辺地域環境整備助成事業について、どの自治会が補助の対象となるのか。

（答弁）

対象自治会は、英賀保自治会と飾磨区今在家自治会である。

（質問）

115万円の予算を計上しているが、補助対象の事業は具体的にどのようなものを想定しているのか。

（答弁）

対象自治会の意見を聞きながら事業を実施していくことになるが、防災用品の購入など地域活動とつながりのあるものを想定している。

（質問）

英賀保自治会と飾磨区今在家自治会についての補助金の割合は決めているのか。

（答弁）

現在は、5か年の補助期間中、場外車券発売施設の

影響が大きい英賀保自治会に4か年、今在家自治会に1か年を充当したいと考えている。

（質問）

補助限度額は場外車券販売施設の施行管理者から本市に交付される環境整備費の2分の1以内となっているが、残りの2分の1の用途について説明してもらいたい。

（答弁）

地域社会活性化基金の中に歳入として計上し、様々な地域活動の資金に充当したいと考えている。

（質問）

英賀保自治会と飾磨区今在家自治会はそれに納得しているのか。

（答弁）

納得してもらっている。

（質問）

（仮称）自治会活動応援事業はどのような取組を想定しているのか。

（答弁）

アフターコロナ、ウィズコロナの時代を見据えて、地域社会のデジタル化の取組を進めている。

補助対象となる事業の第1順位として、ICTを活用した自治会の推進に向けた取組を、第2順位として、多様な地域課題の解決のための新たな取組を、第3順位として、地域イベントや地域資源保存伝承などコミュニティ活動助成事業補助金の範囲では実施困難な大規模かつ先進的な取組を想定している。

（質問）

補助対象は2地区とのことであるが、対象地区が増えた場合はどのような審査を行うのか。

（答弁）

具体的な制度設計は今後に行うが、市の内部だけでなく、外部の意見を聞きながら審査を行いたいと考えている。

（要望）

自治会活動は主体的な活動であり、行政が補助対象に優先順位を設定して、自治会活動を誘導するような発想は好ましくない。

自治会には、もっと独自の自由な発想で活動してもらったほうが、地域活性化につながると思うので、よく議論してもらいたい。

(質問)

人権啓発センターについて、イーグレひめじ 3・4 階空調自動制御設備改修工事設計の費用が約 10 万円とのことであるが、金額に間違いはないのか。

(答弁)

占有面積で案分した金額である。

男女共同参画推進センター、国際交流センター、人権啓発センターがイーグレひめじに入っており、予算要求として全体で約 280 万円の費用がかかっている。

人権啓発センターの面積が約 3.77%であり、案分すると約 10 万円になる。

(質問)

高校生モニターについてどのような方法で募集を行うのか。

また、市内在学の高校生が対象とのことであるが、高校生世代で既に就職している人は、より市政に関心が高い場合もあると思う。そのような人は対象にならないのか。

(答弁)

最終的には公募を考えているが、当初は校長会等で趣旨を説明し、学校から各生徒に働きかけをしてみようと考えている。

また、既に就職している高校生世代の人の意見も非常に大事であるので検討したい。

(要望)

高校生世代を対象にするのであれば、中学校の公民の授業時などで高校生モニターを紹介するなど、市政に興味を持ってもらうような素地をつくっていきけるよう検討してもらいたい。

(質問)

なんでもスマホ相談室事業はどのような形で実施するのか。

(答弁)

各校区の老人クラブがすこやかセンターに校区登園した際に、老人クラブ連合会の協力を得ながら、興味がある人に参加してもらう取組を考えている。

(質問)

各校区で実施するのではなく、すこやかセンターで実施するのか。

(答弁)

各校区の老人クラブに出向いて実施するものとす

こやかセンターで実施するものの 2 種類である。

(質問)

各校区に出向いての実施は最初だけなのか。

(答弁)

各校区へ出向くのは、1 校区当たり年間 1 回を想定している。

すこやかセンターでは毎月 2 回定期的に開催し、自由参加を考えている。

(質問)

年 1 回の校区開催があるとはいえ、高齢者で足が不自由な人などは参加が難しい場合もあると思う。

もう少し回数を増やすことは考えていないのか。

(答弁)

公民館で同様の取組を実施している校区もあるため、そのような情報を収集し、連携して取組を進めていきたい。

(質問)

予算書の国民健康保険料の医療給付費滞納繰越金の収納率が 30%となっているが、これにはどのような原因があるのか。

(答弁)

滞納の原因は様々であるが、分割納付等の個々の事情に応じた丁寧な対応を行い、収納率を上げたいと考えている。

(質問)

新型コロナウイルス感染症の影響による収納率の低下はあるのか。

(答弁)

コロナ禍において所得が減少し、保険料が下がっていることもあり、結果として全体的な収納率は上昇している。

大変厳しい中でもしっかりと納付をしてもらっている状況である。

なお、新型コロナウイルス感染症に係る国民健康保険料の減免等は令和 4 年度も継続しており、引き続き支援していく。

(質問)

場外車券販売施設周辺地域環境整備助成事業について、これは場外車券販売施設の施行管理者が全額負担し、市の負担は発生しないと考えてよいのか。

(答弁)

売上金の0.3%が原資となっており、市の負担は発生しない。

(質問)

予算書のどの部分に当たるのか。

(答弁)

歳入については、地域社会活性化事業費負担金として6,230万円を計上している。

そのうち約6,000万円がポートピア姫路、伊丹市からのものであり、残り230万円が場外車券販売施設、大垣市からのものである。

歳出については、地域社会活性化事業費と地域社会活性化基金積立金として予算措置している。その積立金を取り崩して、地域社会活性化事業費として、毎年の防犯灯設置補助等に支出している。

(質問)

姫路市公共施設等総合管理計画の中では、市民会館など市民局が所管する施設も多数あると思う。総務局が主体的に検討しているのかも知れないが、現在どのような状況なのか説明してもらいたい。

(答弁)

行財政改革推進課が中心となって進めているが、各施設の、個別実施計画を作成する必要があり、市民局として市民会館、市民センター等の在り方を検討している。その中では、アクリエひめじ開館や文化センター閉館後の動向、地域バランス、施設利用率などを総合的に考えながら個別実施計画を取りまとめている。

(質問)

令和3年度に実施した自治会アンケート集計結果の中で、多くの自治会が防犯カメラに対して市の助成が必要と回答しているが、令和4年度予算にはどのように反映しているのか。

(答弁)

防犯カメラについては、危機管理室で予算措置しているが、まずは県に申請し、そこで賄い切れない部分を市で対応している状況である。

なお、防犯カメラの市場価格は下がっており、従来8万円であった県の補助金が今年度6万円となっている。本市もそれに合わせて、令和4年度は6万円の補助金で対応するものである。

(要望)

県の補助はすぐに終了してしまい、市に申請してもなかなか防犯カメラが設置できない現状がある。

アンケートでこれだけ防犯カメラに対する要望があるのに対応しないのであればアンケートを実施する意味がなくなる。

その辺りも含めて危機管理室とはしっかり協議し、地域への対応をされたい。

(質問)

新たに家島老人福祉センターを整備する費用は予算書のどこに記載されているのか。

(答弁)

第25款、第25項老人福祉費のうちの第25目、老人福祉センター費として計上している。

(質問)

高台にあった施設を平地に整備するとのことであるが、災害時の避難所として機能面で問題はないのか。

(答弁)

整備予定地は埋立地であり、浸水の可能性を考慮し、当初計画では平屋建ての予定であったものを二階建てに変更している。

また、万が一に備え、垂直避難ができるような建物を設計している。

(質問)

楽寿園は毎日のように登園する高齢者もいて人気の施設と聞いている。様々な行事が中止となり、高齢者の外出機会が減っている中で、大切な施設である。

楽寿園では風呂を沸かすのに重油を使用しているようだが、燃料費の高騰を反映した予算になっているのか。

(答弁)

公募の際に指定管理者が年間予算をあらかじめ提案しておりそれを基に予算化をしている。

燃料費の高騰による影響は、市全体のことであるので、行財政改革推進課の方針によって対応したいと考えている。

(要望)

高齢者にとって大事な施設だと思う。継続した運営ができるよう取り組まれない。

(質問)

社会保障・税番号制度事業費について、これはマイナポイント事業に充当するものなのか。

(答弁)

社会保障・税番号制度事業費は、マイナンバーカードの申請を受けその交付費に充当するものである。

(質問)

マイナポイントに対する予算はどこに計上しているのか。

(答弁)

マイナポイントは、市を經由せずに国から個人に付与されるものである。

退職者挨拶

市民局終了

12時13分

【厚生委員会（環境局）の審査】

環境局

13時38分

送付議案説明

- ・議案第1号 令和4年度姫路市一般会計予算
- ・議案第13号 令和3年度姫路市一般会計予算補正予算（第12回）

質疑

13時44分

(質問)

地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定において、国が温室効果ガス排出量の2030年削減目標を46%に引き上げたことに伴い、市も国の目標値と整合を図るとされている。

削減目標を何%にするか決まっているのか。

また、市内企業への協力要請が必要と考えるが、どのように考えているのか。

(答弁)

削減目標を何%にするかは、令和4年度に国・県が決めた削減目標に準じて決めたいと考えている。

また、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定時には、企業の代表に参加してもらおう。加えて、令和4年度は金融機関を通じて市内の企業を支援するための事業費を予算計上しており、それらの中で対応していきたいと考えている。

(質問)

再生可能エネルギーについては、計画に詳細を記載するのか。

(答弁)

本市の再生可能エネルギー比率の目標を計画に反

映したいと考えている。

(質問)

次世代自動車等普及促進助成について、補助対象となる車種は具体的に決まっているのか。

(答弁)

燃料電池自動車で、現在販売されている車は1車種のみである。電気自動車については、国の助成制度の対象と同じ車種としており、複数の車種がある。

(質問)

燃料電池自動車5台、電気自動車20台等の補助の上限台数はどのようにして決めたのか。

(答弁)

タクシー事業者に対する補助の台数を10台分として、市内に500台程度のタクシーがあることから、5年間で10分の1が次世代自動車になることを想定している。また、個人向けとしては、現在の登録台数が5年間で2倍になる想定で台数を計上した。

(質問)

想定を上回る補助申請があった場合、どのような対応を行うのか。

(答弁)

予算の範囲内での対応となるが、その場合は翌年度以降の制度設計において再度検討したいと考えている。

(質問)

ロシアのウクライナ侵攻により様々な物価の変動が生じているが、環境局として何か影響はあるのか。

(答弁)

エコパークあぼしで使用しているコークス価格に影響が出ている。

令和4年度上半期の価格について入札を実施したところであるが、今後も価格上昇があるのではないかと考えている。

(質問)

次世代自動車等普及促進に係る補助金について、国のクリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金と併用はできるのか。

(答弁)

併用可能である。

(要望)

国は、クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促

進補助金を増額するとのことであり、それを上手にPRすることで、次世代自動車等の普及促進にはずみをつけてもらいたい。

(質問)

事業所向け太陽光発電設備等設置助成について、どのような普及促進を考えているのか。

(答弁)

本市の啓発だけでなく、金融機関と連携して市内の中小企業にアプローチしたいと考えている。

具体的には、企業向けセミナーの実施などについて様々な金融機関に連携を求めているところである。その中で、本市の取組を金融機関に紹介してもらうことが重要だと考えている。当該事業に限ったことではないが、新規事業を分かりやすくまとめたものを金融機関に提供し、それを各企業に紹介してもらえよう積極的に取り組みたい。

(質問)

ゼロカーボンキャッスルの推進や公共建築物のZEB化等、他局の所管事業とはどのように連携をしていくのか。

(答弁)

これまでは環境局で把握した情報を基に各所管課と個々に調整していたが、今後は、各所管課が新規施設整備を検討する際には、横断的な取組ができる行財政改革推進課を通じ、環境局が助言するという形を検討している。

(質問)

保健所の大規模改修について、環境局としてどのように考えているのか。

(答弁)

環境局としては施設改修でのカーボンニュートラルの取組を想定しているが、具体的には担当局や財政部局と協議したい。

(要望)

財源の課題もあると思うが、各部署と連携し、ゼロカーボンシティに向けて頑張ってもらいたい。

環境局終了

13時57分

散会

13時57分